

市消防署 成田消防士長が提案

掛け声は



のどに異物が詰まってい
ない人には、絶対に
行わないでください！

皆さんは、のどを詰まらせて苦しむ人を目の前にしたことがありますか？

この掛け声は、札幌市で行なわれた第40回全道消防職員意見発表会で、最優秀賞を受賞した成田友季消防士長の発表テーマです。もしも目の前にのどを詰まらせて苦しむ人がいたら・・・

「バン・バン・バン」と救ってあげてください。

成田消防士長は、7年前に甥っ子（当時4歳）が鉛をのどに詰まらせた瞬間に遭遇したことがあります。その場に居合わせた家族は、普通救命講習を受講しているにもかかわらず、見る見るうちに血の気が引く甥っ子を目の前に焦ってしまい身動きが取れなかったそうです。

救急隊員として応急処置を身に着けていた成田消防士長は、背中を叩いて異物を除去する【背部叩打法】を実施し、事なきを得ました。

昨年の春、道内の小学児童が窒息死したというニュースを目にして「甥のように素早く対処していたら、このような悲しい事故は未然に防げたのではないか。しかし、その場に居合わせても自分の家族のように背部叩打法が出てこないのでは意味がない。」と、親しみやすく、印象的な説明はないかを探し、この「バン・バン・バン」にたどり着きました。

昨年からは、一般市民や教職員・保育士などが参加する救命講習会で積極的に広めています。

とっさの判断・行動が生死を分けます。皆さんも正しい「バン・バン・バン」を覚えていざという時に備えましょう。

まず、背部叩打法とは・・・喉を詰まらせたときに、一般的に行なわれる方法です。

1.【傷病者が立っている場合や座っている場合】

①重力を利用できるよう傷病者の頭を下げます。



②傷病者の胸に手を当てて、手の付け根で両肩甲骨間を叩きます。バンバンバン！

③力強く続けて叩きます。



傷病者の頭を下げ
手の付け根で
力強く続けて叩く



2. 「傷病者が寝ている場合」

- ①うつ伏せや仰向けになっている場合、まず体を横向き（※回復体位）にします。
- ②足で傷病者の体を支え、1の②と同じように手の付け根で両肩甲骨間を叩きます。バンバンバン！
- ③力強く続けて叩きます。



両肩甲骨間を力強く続けて叩く

3. 「乳児・新生児の場合」

- ①腕の上に赤ちゃんの体を乗せて下あごを保持します。



- ②ひざの上に乗せて両肩甲骨間を力強く続けて叩きます。バンバンバン！



※回復体位

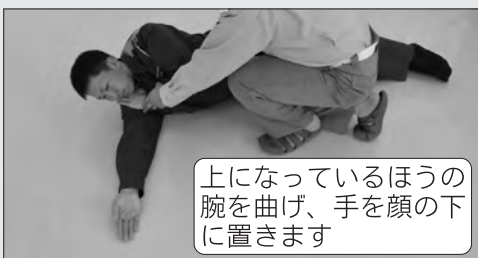
手前の腕を開きます



肩と腰を持ち



静かに起こします



上になっているほうの腕を曲げ、手を顔の下に置きます



完成

1.5cmの食べ物で



平成25年6月29日(土)北海道新聞

平成25年6月、道内の小学校に通う2年生の男子児童が、給食で出た食べ物で詰まらせました。教員たちが、掃除機などを使って食べ物を取ろうとしたが、児童は呼吸困難となり、搬送先の病院で死亡が確認されました。市内の窒息事故の搬送件数は、過去5年で3件となっています。

また、厚労省の昨年のデータによると、窒息死者は毎年4,000人以上に上るそうです。

消防署では、心肺蘇生法やAEDの使い方、異物除去やけがの手当など、応急手当を習得していただけるよう市民の方を対象とした救命講習会を開催しています。

詳しくは、お問い合わせください。

市消防署救急通信課

TEL (24)3164番

内線 311番



全道大会にて熱弁をふるう成田さん